兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2026 11



10月22日神戸サンボーホールにて「2026年度　兵庫県生協大会」を開催しました。



生協功労者表彰として「兵庫県知事感謝」、生協業務に精励した役員・職員に「兵庫県生協連 会長表彰」が贈られました。また、第２部のステージでは「笑いと健康～人と人のつながりが人生を豊かにする～」と題して桂三四郎氏の講演と落語がありました。（詳細は次号掲載）



協同が息づく兵庫のまちづくり

想点 ―そうてん―



阪神医療生活協同組合
専務理事
塩見　有生
（しおみ・ゆうき）

「今日、どう？（会える？・元気？・一杯どう？）」

こんなやり取りを、皆さんも一度は経験したことがあるのではないでしょうか。誰にでも声をかけるわけではなく、ある程度身近で、信頼できる人同士だからこそ交わされる言葉だと思います。

「良かったこと、辛かったこと、ちょっとあなたに聞いてほしい。」あるいは、

「大切なあなたが、今日は少し寂しそうに見えた。何かあったのかな。少しでも元気になってほしい。」

そんな相手を想う気持ちが、「今日、どう？」という何気ない一言の裏には隠れているような気がします。

ただの語呂合わせですが、「今日、どう？」は「協同？」にも聞こえます。そう考えると、「協同」という言葉も、決して難しいものではないのかもしれません。

誰かのことを気にかける。声をかける。話を聞く。一緒に考える。困ったときには助け合う。そして、うれしいことがあれば一緒に喜ぶ。

「一人では難しいことも、誰かと一緒なら何とかなるかもしれない。」

そんな人と人との関係が、「協同」の原点ではないでしょうか。

私たち阪神医療生協は、医療や介護の事業だけを行う組織ではありません。地域の中で人と人とがつながり、支え合い、誰もが安心して暮らしていける地域を、組合員・職員とともにつくっていく組織です。けれども、その始まりは、大きな活動や特別な取り組みでなくてもいいと思います。

「最近、顔を見ないけど元気かな」
「何か困っていないかな」
「ちょっと話を聞こうか」

そんな小さな気づきと一言から、人と人とのつながりは生まれます。そのつながりが一つ、また一つと重なれば、誰かの安心になり、やがて地域を支える力になっていくのだと思います。

便利な世の中になり、一人でもできることは増えました。一方で、人と人とのつながりは、意識しなければ少しずつ薄れてしまう時代なのかもしれません。

だからこそ、私たちは「協同」を大切にしたい。

難しく考えなくてもいい。特別なことをしなくてもいい。まずは、身近な誰かを気にかけることから。

「今日、どう？」

その一言から始まる「協同」が、私たちの職場に、地域に、もっともっと広がっていけばいいなと思います。

CONTENTS

2．想点
3．舞鶴引揚記念館、舞鶴赤れんがパーク訪問
　兵庫県生協連　第３回理事会報告
4．協同組合のかけ橋
5．兵庫県のページ／ヨッシーの窓
6．2026年度 兵庫県生協大会／県連行事予定／編集後記

ピースアクション2026
舞鶴引揚記念館、舞鶴赤れんがパーク訪問

10月13日、会員生協の組合員・役職員26名が参加し、舞鶴引揚記念館、舞鶴赤れんがパーク、赤れんが博物館を訪問しました。

神戸駅に集合し、舞鶴に向けて出発。最初に訪れた舞鶴引揚記念館では、２班に分かれて語り部の方に案内していただきました。シベリア抑留や引き揚げの歴史、当時の人々の苦難や家族との再会への思いなど、貴重な資料と展示を通して学ぶことができました。

続いて、舞鶴赤れんがパークを訪問。歴史ある赤れんが建造物が立ち並ぶ風景を見ながら、赤れんが博物館でれんがの歴史や世界各地のれんがについて学びました。

今回の訪問を通して、舞鶴の歴史や平和の大切さへの理解を深めることができました。戦争の記憶を風化させることなく、平和への願いを次の世代へとつないでいくことの大切さを感じる一日となりました。


シベリア抑留中の食料分配の様子


抑留生活体験室


ピースアクション舞鶴に参加されたみなさま

参加者の感想

・日本に帰る事を願い、長い年月を耐えてきた人々の痛みと悲しみや叫びが記念館を見る中で感じ取られ戦争の悲惨さと平和への願いをさらに強くしました。
・戦争は戦場だけで終わらず、戦後も続き、人々の命だけでなく心まで奪い去るという残酷さを改めて痛感しました。
・戦争の悲惨さと平和の尊さを伝え、私たちが何をやるべきか話し合うことが大切だと思います。

2026年度 兵庫県生協連 第3回理事会報告

【開催日時】 2026年10月５日（月） 14：00～15：30
【開催会場】 神戸商工貿易センタービル26階　第４会議室
【出 席 者】 岩山会長理事、末松副会長理事、福井専務理事、若生理事、中野理事、小谷理事、横川理事、井上理事、森本理事、栗岡理事、矢田理事、清宮理事
瀬井監事、瀬戸口監事、柏原監事

議決事項

１．2027年１月の新春トップセミナー・賀詞交換会の開催について

報告事項

１．分野別生協・団体からの活動報告（各理事・監事より）
２．2026年度生協大会の詳細について
３．兵庫県生協連　行事・諸活動報告（７/31～10/４）



協同組合のかけ橋

JF 明石浦漁協青年部

明石浦漁協青年部が『明石ダコ体験イベント』を開催

明石浦漁協青年部（鳥居源輝会長）は、８月23日（日）、明石浦漁協で明石ダコ体験イベントを開催しました。このイベントは、地元明石の特産である明石ダコの生態や漁法、資源管理の重要性について子供たちや地域住民に学んでもらい、海や漁業を身近に感じてもらうことを目的に企画されたものです。

会場には多くの親子連れらが詰めかけ、開始前から長蛇の列ができるなど大盛況となりました。最も人気を集めた「明石ダコ釣り体験」では、参加した子どもたちが夢中で竿を伸ばし、見事にタコを釣り上げると大きな歓声が上がっていました。また、海の生き物と触れ合えるタッチプールや、タコつぼアート、パネル展示などの体験・学習コーナーも多くの人で賑わいました。

同イベントは、次代を担う子どもたちに楽しみながら地域漁業への関心を深めてもらい、漁業者との交流の機会を促すため、同青年部が主体となって企画・運営を手掛けました。



JA 兵庫六甲

三田野菜･産直の会 ピーマン部会 部会長　小林 伯夫氏

伝統的な取組みと技術を継承し、産地の活性化を図る

本企画は、兵庫県を拠点に活動する生産組織にスポットを当て、設立に至った経緯や注力している取り組み、メンバーの意気込み等を紹介します！

Q1. 部会の活動について教えてください

三田ピーマンは三田市で50年以上栽培が続いており、地域を代表するブランドとして発展してきました。長年続く三田ピーマンの栽培を受け継ぎ、次世代に継承していくため、三田野菜・産直の会 ピーマン部会は活動しています。

現在、部会には27人が所属しており、栽培面積は約1.5ha にのぼります。

Q2. 部会の特徴について教えてください

本部会では、毎年、出荷基準の再確認と品質の均一化を図るため、「目慣らし会」を実施しています。また、部会の伝統である手作業での袋詰めにもこだわり、一つひとつ形を見ながら互い違いに隙間なく詰めることで、運搬時の揺れによる傷を最小限に抑えています。

こうした取組みによって品質と見た目の美しさをを保持し、長年 育んできたブランド価値を守り続けています。保持し、長年育んできたブランド価値を守り続けています。

Q3. 特徴的な取組みについて教えてください

年に１度、大阪の市場を訪問し、担当者から販売状況や今後の要望などを直接聞く機会を設けています。

出荷方法や出荷基準等の市場の要望を把握し、得た知見を日々の作業にフィードバックすることで、より販売先のニーズにあったピーマンを生産できるよう努めています。

Q4. 現在、力を入れている取組みについて教えてください

生産者数の減少が進む中、三田ピーマンを次世代へ継承するため、若手生産者の育成に尽力しています。

昨年より、病害虫対策や栽培技術を学ぶ栽培講習会の開催数とベテラン農家が若手生産者のほ場を巡回し助言するほ場巡回の実施回数を増加させました。

Q5. 今後の目標を教えてください

今後も、手作業での袋詰めや若手生産者の育成に取り組み、三田ピーマンの品質と産地を守り続けたいと考えています。また、部会員全員で今後の方針を協議する場を積極的に設け、ベテラン農家の経験と若手農家の新しい視点を融合させながら、産地の活性化に努めていきたいと考えています。



参加無料

くらしに役立つ金融経済講演会・消費生活講座

特殊詐欺や金融・消費者トラブルに遭わないために

ニュースでよく話題になる詐欺や消費者トラブル。「自分なりの対策だけでは不安」と感じていませんか？本講演では、アナウンサー経験を活かしたコミュニケーションの視点から、ダマされないための対策をわかりやすく解説します。



フリーアナウンサー
笠井 信輔 氏

〈講師プロフィール〉
1963年東京生まれ。1987年早稲田大学卒業後、フジテレビにアナウンサーとして入社。入社以来、“情報畑”を歩く。1999年からフジテレビの朝の爽やかな顔として、「とくダネ！」のキャスターを20年間務め、2019年にフジテレビを退社。現在はフリーアナウンサーとして、テレビやラジオなどに出演しているほか、最近は全国各地で特殊詐欺にダマされないための講演も行うなど幅広く活動中

2026年12月2日(水)
14:00～15:30（開場 13:30）

会場 神戸市立 **中央区文化センター**
神戸市中央区東町115番地（神戸市役所西側）

申込方法 神戸市イベントサイト「おでかけKOBE」からお申し込み

定員 会場参加 **120名**（先着順）
会場参加は兵庫県在住・在勤・在学の方対象

アーカイブ配信 **定員上限なし**
事前申込制
アーカイブ配信は、居住地等を問わずお申し込みいただけます。

申込期間／11月9日㈪ 10：00～11月24日㈫ 17：00

※災害や天候、交通機関の状況等によっては、中止または内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。なお、この場合は、神戸市消費生活センターホームページにてお知らせいたします。 https://kobe-consumer.smartkobe-portal.com/
※ご提供いただいた個人情報につきましては、本講演会事務以外に使用することはございません。

主催／神戸市、兵庫県、兵庫県金融広報委員会　　共催／金融経済教育推進機構（J-FLEC）
●お問い合わせ　兵庫県金融広報委員会（日本銀行内）▶ TEL.078-334-1129（平日9時～17時）
FAXでのお問い合わせ　神戸市消費生活センター ▶ FAX.078-351-5556

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓



みなさま、こんにちは。適格消費者団体NPO法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

毎日があっという間に過ぎ、気が付けば11月に入っていました。今年も残すところわずかとなってきました。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、前回はひょうご消費者ネットの「少額短期保険に関する申入れ活動」をお話していました。「葬儀保険」では、比較的低額な保険料で葬儀代等の備えができると広告されれています。一度、加入すると、拒絶しない限り自動で更新され、保険金が一定の場合には、高齢になるほど保険料の額が高くなり、保険料が一定の場合には、高齢になるほど保険金額が低くなる仕組みになっています。ざっくり言ってしまうと、一旦加入すると、年数を重ねれば重ねるほど、損してしまい、契約を止める機会も気付きにくいという仕組みとなってしまっています。年数を重ねるということは高齢者になっていくということです。そのリスクとして認知症になってしまった場合があります。認知症になってしまうと、契約の更新を止めることに気付くことができないという点です。このような問題点に関し、改善を求めるように申入れを行いました。

ひょうご消費者ネット 連絡先
〒650-0012　兵庫県神戸市中央区北長狭通５丁目４－７　ニューブ神戸 306号室
TEL：078-361-7201　E-mail：office@hyogo-c-net.com

いよいよ今月末が締切です！

ひょうごまるごと健康チャレンジ2026

兵庫県下の生協や協同組合が一緒になって取り組んでいる「ひょうごまるごと健康チャレンジ2026」。チャレンジを達成された方からの声が届いています。

☆達成された皆さんの感想☆

・継続することで健康な身体を保てています。
・早寝早起き規則正しい生活、犬の散歩も有効に。
・毎朝きちんと朝食を摂ることで元気に活動できました。
・毎日30分～１時間歩けるようになりました！

今年はコース名、チャレンジ名を一新！



A 食べて健康コース

チャレンジ例
- 食物繊維や発酵食品を摂る
- 塩分は1日6g未満に
- ベジファースト
- たんぱく質を毎食摂取する
- 1口30回噛もう
- 朝食を食べる
- 腹八分目を守る
- 飲酒は適度に

B いきいき元気コース

チャレンジ例
- エスカレーター、エレベーターは使わない
- あいうべ体操
- 1日5～10分の筋トレ（ストレッチ）をする
- ながらで筋トレをする
- 毎日（ラジオ）体操をする
- いつもより1000歩多く歩こう
- 早寝早起きをする
- 朝晩に血圧を測る

C すこやか生活コース

チャレンジ例
- 誰かとおしゃべり
- ガーデニングや家庭菜園
- 湯船につかる
- 腹式呼吸をする
- 窓をあけて空気の入れ替えをする
- 地域活動（趣味・ボランティア）に参加
- 好きな曲でダンスする

D キッズチャレンジコース

チャレンジ例
- 毎日歯みがきをしよう
- 正しく手洗いをしよう
- 朝食を食べよう
- 早寝早起きをしよう
- 外で体を動かそう
- 夏休みのラジオ体操に挑戦
- 野菜を毎日食べよう
- お手伝いをしよう
- テレビやゲームは時間を決めて
- 日記をつけよう

今から参加される方はもちろん、すでに達成された方も違うコースにチャレンジしてはいかがでしょうか。参加をお待ちしております！

☆チャレンジ期間は2026年11月30日まで（期間中のお好きな30回）終了後はWEBで報告または、結果報告はがきを提出ください。

詳しくはこちらから⇒
https://www.coop-hyogo-union.or.jp/health

WEBでの結果報告はこちらから⇒
https://www.coop-hyogo-union.or.jp/health/mail

県連行事予定

11月5日　共済生協部会拡大版
11月11日　医療生協部会、保健・医療・福祉研究会拡大版
11月13日　監事研修会
11月17日～18日　日生協能登半島地震・奥能登豪雨災害支援活動
11月20日　大学生協部会
11月24日　兵庫JCC事務局会議
11月25日　生協活動委員会

編集後記

2026年度兵庫県生協大会を無事に開催することができました。ご参加いただいた皆さま、ブース展示にご協力いただいた会員生協・団体の皆さま、ありがとうございました。

今年は昨年よりブースが2つ増え、会場いっぱいにブースが並びました。初めて参加した私にとって、ブースを越えて声を掛け合い、楽しそうに交流される皆さまの姿がとても印象的でした。第2部では桂三四郎さんの落語と講演に、会場は笑顔に包まれました。

人と人とのつながりを感じた一日。来年はどんな大会になるのか、どんな大会にしていくのか、期待を胸に次へと歩みを進めます。（後内）

第664号 兵協連だより 2026年11月1日発行
編集発行 兵庫県生活協同組合連合会
〒651－0083 神戸市中央区浜辺通5丁目1－14 神戸商工貿易センタービル13階
TEL（078）894・3207 FAX（078）894・3208